

平成29年度国立市市民表彰  
教育文化功勞



# 故 小島 泰義氏

国立市体育協会会長

国立市体育協会会長として永年に亘り、国立市体育協会の発展及び市民スポーツ普及に尽力し、国立市におけるスポーツ振興及び発展に大きく貢献されました。平成29年6月に逝去されたため、こちらでは、小島氏の功績をご紹介します。

小島氏は、昭和60年より国立市体育協会の理事を務め、平成23年より国立市体育協会の会長として、市民スポーツの普及に尽力し、国立市におけるスポーツの振興及び発展に大きく貢献されました。

文教都市国立といわれるこの町において、スポーツの果たす役割は大きく、健康で、明るく、元気な街づくりとして子どもから高齢者までのスポーツ振興を目標に活動されてきました。

平成7年に国立市体育協会広報部長に就任し、体育協会の目的の一つである多くの市民にスポーツへの関心を持ち「する」、「見る」、「支える」を合言葉に広報活動として、機関紙発行に尽力されました。

平成16年、国立市体育協会副会長に就任。平成23年、国立市体育協会会長に就任し、各専門部（企画・広報・財務等）の整備を行い組織の強化を図り、永年行っている各行事についてさらに充実させました。

市民体育祭、ファミリーフェスティバル、くにたちウォーキングの主催行事ではリーダーシップをとり、市民に喜ばれ、スポーツの発展に寄与することを目標に近年は専門部の強化を図り成功させました。

子どもと高齢者施策では東京都、東京都体育協会との連携でジュニア育成地域推進事業・シニアスポーツ振興事業が現在も実施中ではありますが、開始当初より積極的に活動され、少年スポーツ、高齢者スポーツの振興に尽力されました。

その他、スポーツ教育講演会を開催し、目標の一つであった、スポーツ普及、振興は指導者育成であることを掲げ、指導者の資質向上のための研修や情報交換会を行いました。また、指導者連絡会、スポーツ講演会においては、教育的、医学的、指導法に関することなどの講演会（研修会）での会員と協力しスポーツに係わっている人の資質向上を目標に行われました。

スポーツ祭東京2013での功績として、国立市開催種目（ウエイトリフティング）が決定し、早くも他県会場に出向き視察を行い開幕前、開催中すべての期間で先頭に立って行政との綿密な連絡調整を行い、参加した多数のボランティアをまとめ、無事国体を成功させました。また、デモスポ競技として、毎年行っているくにたちウォーキングの経験を生かし、都協会と協力し、無事成功させました。

東京2020オリンピック、パラリンピックを成功させるため気運醸成を図る目的で開催された事業体験会を体育協会会長として陣頭指揮を執る予定でした。



※推薦基準日平成29年5月1日に基づき、記事を作成しています。